# 地域社会とともに

### 社会貢献活動

全国に16の支店、15の営業所、5つのヘルスケアフードサービスセンターを擁し、4,915ヵ所(2012年11月末現在)のご契約先事業所でお客様に食事サービスをお届けしている日清医療食品にとって、地域社会の発展、共存共栄は企業としての存在意義にも関わる何よりも重視すべき事柄です。こうした考えをもとに、日清医療食品は「良き企業市民」を目指して、事業を通じた社会への貢献に注力するとともに、「食」に関わる知見やノウハウをもつ人材など、経営資源を活かしたさまざまな社会貢献活動に継続的に取り組んでいます。



### 「食」をテーマにした活動

### ■「食育」に関する取り組み

保育所・幼稚園を対象に食事サービスを提供している日清医療食品では、 各支店が創意工夫を凝らした食育活動を推進しています。

横浜

2012年5月、神奈川県平塚市にある「湘南みらい保育園」

において当社の教育インストラクターが参加する 「おさかなショー」を開催。 先生方とともにカツ オをさばく様子に子どもたちは興味深々でした。



中国支店

2008年、保育所・幼稚園のご契約 先事業所チーフが集まる会議のな

かで、子どもやご家族の方に向けた刊行物「たべるのだ ~いすき」を創刊。「子どもたちが避けがちな食材をいか に食べてもらうか」をテーマとしたレシビや旬の食材を 紹介し現在も毎月発行し、2011年からは読みやすくわか りやすい漫画「食育4こま」の掲載を始めました。また、 2012年には「食育かるた」、「全国郷土料理レシビ」を作成し献立にも取り入れ、ご契約先事業所の食育活動に 参加しています。





A CHE O

#### ■「介護食」に関する取り組み

高齢者のなかには、食物を口に取り込み、歯で咀嚼しながら喉に送り込む摂取・嚥下が困難な方が数多くいらっしゃいます。こうした課題の解決に向けて、日清医療食品ではムース食などの開発に注力していますが、各支店においても積極的に介護食の開発に取り組んでいます。

中国支店

鳥取県米子地域では、社員が発案した「粥ゼリー」が 喜ばれています。これは、ペースト粥をゲル化剤で固めた

ゼリー食で、粥食の利用者様にもお寿司を食べさせてあげたいという思いでつくり始めました。利用者様から好評なため、つくり方などを各ご契約先事業所間で共有し、巻き寿司、オムライス、おはぎ、おもちなどにレパートリーが広がっています。







2010年8月、「第一回嚥下食コンテスト」を実施しました。 テーマは、敬老会で提供するお献立。嚥下困難なお客様

にも食べていただける形態での形成食の味を競い合い、病院の栄養士様や取引先の社長様など外部の審査員に評価をいただきました。また、当日は中国支店の社員も参加し、独自に開発した「粥ゼリー」のプレゼンテーションも実施しました。







### 「社会課題解決」をテーマにした活動

### ■ ベトナムにおける診療所建設プロジェクトの支援

日清医療食品は、保育所での食育活動や調理講習会など、地域ニーズに応じた社会貢献活動を推進しています。また、全国の支店では、社会課題を 見据えた独自の取り組みを推進しています。

仙台 支店 「社会に貢献できる栄養士」をスローガンに掲げる仙台 支店栄養士会は、2009年1月に完成したベトナムの診療 所建設プロジェクトを支援しました。これは、国際NGO「プラン・ジャパン」 が推進する事業で、ソンティン村にある老朽化した診療所に代わる新たな診 療所を建設したことで、周辺の約5,000名の人々が質の高い医療サービスを







完成した診療所

### ■ エコキャップ運動への参加

日清医療食品では、ペットボトルのキャップを集め、そのリサイクルによる売上金を途上国の子どもたちのワクチン代や震災復興支援に充てるエコキャップ運動(主催: NPO法人エコキャップ推進協会)に参加する支店が増加しています。



栄養士会の発案で名古屋支店内の全ご契約先事業所にポスターを配布し、2012年11月までに257,238個、317名分のワクチンを寄贈しました。



栄養士会のメンバ

### 「地球環境保全」をテーマにした活動

### ■ 富士山麓での清掃活動

ワタキューグループは、2012年の総合職新入社員研修の一環として、総勢112名で「富士山クリーン活動」に参加しました。この活動は、2009年からワタキューセイモア(株)が認定NPO法人富士山クラブに会員登録して実施してきたもので、日清医療食品は初めての参加となり、新入社員30名が参加しました。当日は、富士市今宮地区の県道24号線を清掃し、約2時間の間に660kgのゴミを回収しました。





富士山クリーン活動

## 日本真文化。 ユネスコ無常文化遺産。

### ■「日本食文化の世界無形遺産プロジェクト」への参加

農林水産省をはじめとする関係省庁、学会、料理界、外食業界は、ユネスコが審査する無形文化遺産の登録に向けた検討会を立ち上げ、登録提案を行っています。日清医療食品も2012年9月から本プロジェクトに参加しています。



### ■「食」について考えるコンテストへの協賛

日清医療食品は2011年11月、生活の基本である「食べる」という行動の意味を見つめ直すための「WFP(国連世界食糧計画)エッセイコンテスト」に協賛。コンテストの応募1通につき、飢餓で苦しむ子どもたちに給食1食分が寄付されます。



#### ■ 飢餓をなくすためのチャリティ活動への協賛

日清医療食品は、2012年5月、子どもたちの飢餓をなくすためのチャリティウォーク「WFPウォーク・ザ・ワールド」の活動に協賛しました。日清医療食品、ワタキューセイモアの社員が参加しました。



#### ■ 子ども霞ヶ関見学デーに出展

日清医療食品は、2012年8月、子どもたちに社会を学ぶ機会を提供する「子ども霞ヶ関見学デー」に出展。食を扱う企業として、手洗いの重要性を伝えるパンフレットを配布するなど、衛生面の重要性を紹介しました。

28